

行政報告

3月市議会定例会における行政報告の概要をお知らせします。

▶ 能登半島地震

1月1日に発生しました能登半島地震により被災された全ての皆様に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

当市においても、造成ブロックの倒壊や、家屋の損壊、液状化現象等の被害があり、建物被害は570棟を超えております。このような状況から、支援の拡充について、2月1日と16日に、内閣府をはじめ、総務省、国土交通省等に市独自の緊急要望を行ってまいりました。引き続き、被災された方や地域の皆様の声を聞きながら関係機関と調整を図ってまいります。

▶ 令和5年度国の補正予算の内示状況

市営事業では5件、事業費約9千1百万円であり、主なものは、農道橋定期点検や消雪パイプ散水管更新、ガス上下水道事業の官民連携導入検討業務委託となっております。県営事業では6件、事業費約6億1千8百万円であり、主なものは、ほ場整備や、ため池の耐震化、農道橋の耐震補強となっております。国の直轄事業は7件で、糸魚川市を含めた事業費は、約10億3百万円であり、主なものは、法面対策や海岸擁壁補修となっております。

▶ 能登半島地震講演会の開催

1月1日に発生した能登半島地震を受け、4月14日13時から、市民会館において、富山大学の安江 健一准教授をお招きし、能登半島地震の特徴、能登半島の被害状況、日本海沿いの地震活動について解説していただきます。地震に対する理解を深め、今後どのように備えるかを考える機会として、多くの市民の皆様からご来場いただきたいと考えております。

▶ 博物館開館30周年記念イベント

令和6年度は、フォッサマグナミュージアムと、長者ヶ原考古館が、開館30周年を迎えます。年間を通し、さまざまな事業を開催する予定としており、4月21日に、両館共通の記念式典と記念講演会をフォッサマグナミュージアムで行います。今後もジオパークをテーマにした教育や研究活動のほか、交流観光の場として、糸魚川のまちづくりに貢献できるよう活動してまいります。

▶ 「NHKのど自慢」の開催決定

市制施行20周年、また市民会館オープン50周年の記念として、6月30日に「NHKのど自慢」の開催が決定いたしました。



当地では9年ぶりの開催であり、多くの皆様からご鑑賞いただきたいと考えております。

NHK新潟放送局長 川瀬直也さんから米田市長へ、NHKのど自慢の開催決定通知書が手渡されました

▶ 2025大阪・関西万博の「自治体参加催事」等への出展内定

来年4月から開催される、大阪・関西万博の「自治体参加催事・テーマウィーク」について、県や県内自治体と共に、食をテーマにした催事と、県特産品の展示等への出展内定の通知がありました。令和6年度は、万博に訪れる外国人観光客をはじめとした、関西方面からの誘客につなげるため、プロモーション活動や、プレイベントを実施しますとともに、県および県内自治体と連携し、出展準備を進めてまいります。

▶ 認知症グループホームの開設

第8期介護保険事業計画において整備を計画しておりました、定員18人の認知症グループホームが、3月1日から南押上地内で「グループホームエフビー糸魚川」として事業を開始いたしました。今後も介護保険サービスの安定的な提供に努めてまいります。

❖ 浦本保育園の閉園

町村合併後の昭和30年、初の市立保育園として開設された浦本保育園が、令和5年度末をもって閉園しました。

令和3年度以降、休園していましたが、開設当時は75人の卒園児がいた年もあり、これまでに1,200人を超える園児が巣立っていきました。



昭和30年当時の園舎



平成4年12月に建てられた現在の園舎